



第16回JR連合青年女性役員研修会



2017/3/24～25 開催

総勢 38名の青女役員が参加！

本研修会の目的

・1987年4月、国鉄分割・民営化により、全国6社の旅客会社と1社の貨物会社が発足しました。そして、国鉄時代から繰り返されてきた鉄道労働運動の対立と分裂の歴史に終止符を打ち、新たなJR労働運動の創造を目指して、JR連合は1992年5月に結成し、今年で25年となります。

これまでの諸先輩方の努力によって、JRを代表する産業別労働組合となっていますが、様々な課題があるのも事実です。魅力あるJR産業をつかっていくためには、組織課題を認識しておく必要があります。これからJRグループを担っていく皆さんが組織課題、とりわけ民主的闘争の意義や必要性について、理解と認識を深める一助になれば幸いです。

本研修会を通じて、今後も学習を続けていく「気付き」や「きっかけ」にしていきたい。そして以下の3項目が本研修会の大きな目的であります。

1. 「JR連合を取り巻く現状と課題を認識する」

2. 「JR連合の取り組む政策課題について理解を深める」

3. 「全国の仲間との交流を深める」



松岡会長

1日目

- ・ JR連合松岡会長による特別講義。「JR連合結成と民主化闘争」
- ・ JR連合荻山副会長（JR西労組委員長）・JRイーストユニオン菅野委員長・佐藤執行委員による講義
国鉄改革や、JR連合の歴史を学ぶ内容でした。



2日目

2日目は、4つのグループに分かれて、グループディスカッションを行い1議題目として「1日目の振り返り」と「民主化当該単組の現状について」話し合い、2議題目として「あるべき労働組合とは?」「あるべき労使関係とは?」について話し合い、模造紙にまとめて、それぞれ発表しました。

1日目に比べ、初対面の方同士が打ち解けあい活発な討議が行えました。考え方やまとめ方もグループそれぞれ個性があり、とても充実したグループディスカッションとなりました。

今研修会で理解度を深める事が出来たと同時に、共に活動を行っている全国の同世代の仲間が集まる事により、横の繋がりを感じる事の出来た大変有意義な研修会になったことをご報告します。

